



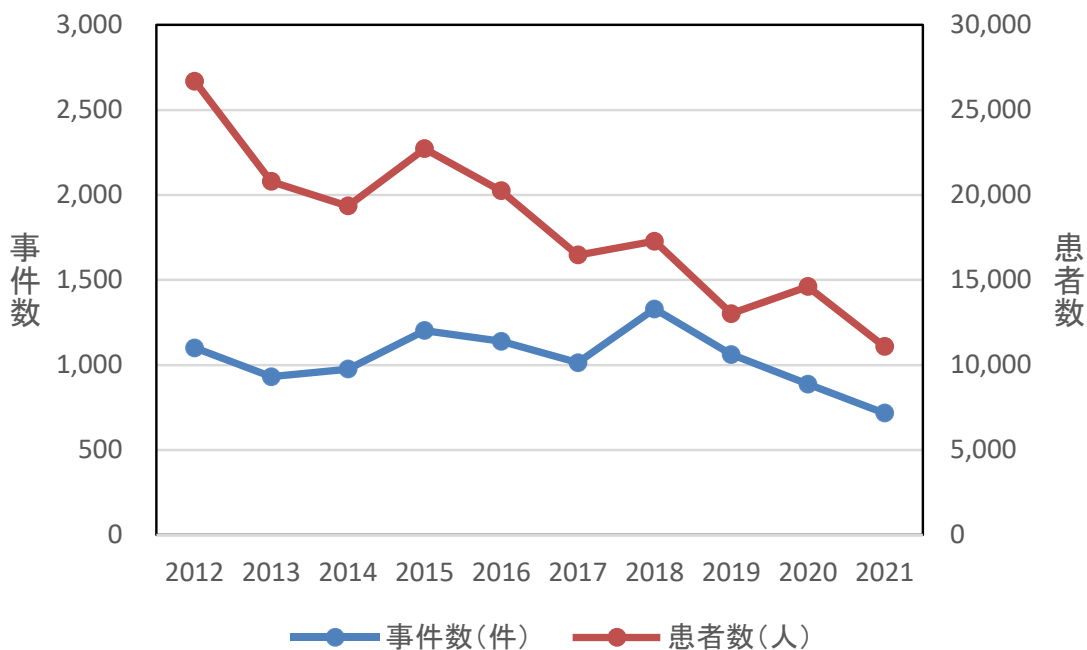
1. 全国食中毒の事件数と患者数の推移

2012年～2021年の全国における食中毒の発生状況（報告数）をみますと、2021年は2020年に比べて事件数、患者数とも減少しました。

新型コロナウイルス対策の徹底もあり、食中毒事件数は減少傾向にありますが、患者数は、ノロウイルスと病原大腸菌による大規模な食中毒事件が2件発生しました。

2021年の死者数の2件は、沖縄県の老人ホームで発生したサルモネラ属菌を原因とするものと植物性自然毒（イヌサフラン）を原因とするものでした。

最近10年間の全国の食中毒の事件数と患者数の推移



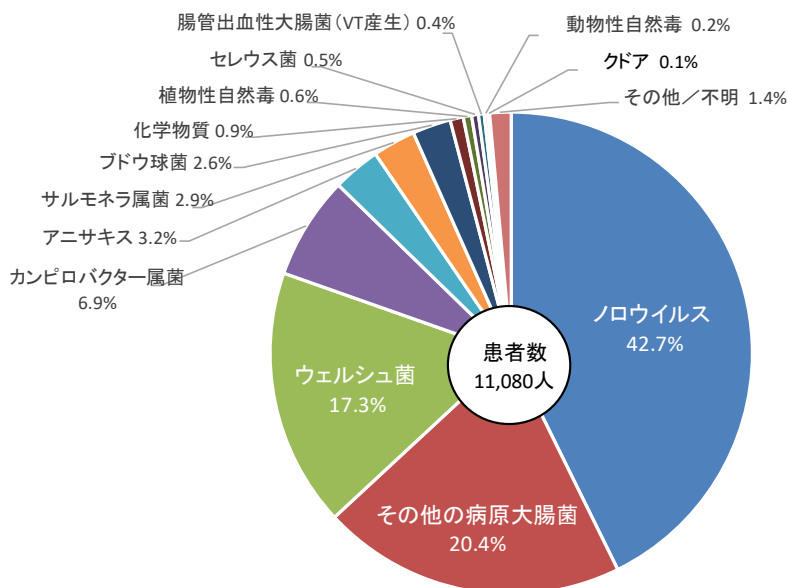
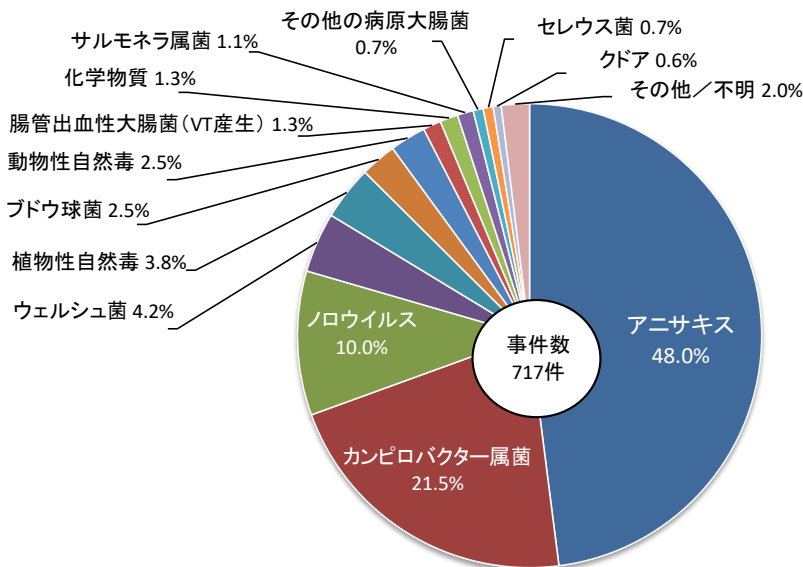
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
事件数(件)	1,100	931	976	1,202	1,139	1,014	1,330	1,061	887	717
患者数(人)	26,699	20,802	19,355	22,718	20,252	16,464	17,282	13,018	14,613	11,080
死者数(人)	11	1	2	6	14	3	3	3	3	2

2. 病因物質別の食中毒発生状況(2021年)

2021年の病因物質別の食中毒発生状況をみると、事件数は、2019年、2020年に続いて寄生虫のアニサキスが344件で第1位になりました。アニサキスに次いでカンピロバクター属菌が154件、ノロウイルスが72件で、2019年、2020年と順位は変わらず、全体の約80%を占めています。

2021年の患者数は、ノロウイルスが4,733人と最も多く、その他の大腸菌(O157に代表される腸管出血性大腸菌以外)が2,258人、ウェルシュ菌が1,916人となりました。

ノロウイルスは、倉敷市で給食弁当を原因食品とする大規模な食中毒事件(患者数2,545人)が、その他の病原大腸菌は、6月に富山市で牛乳を原因食品とする大規模な食中毒事件(患者数1,896人)が発生しました。



3. 最近3年間の病因物質別の食中毒発生件数の推移

病因物質別食中毒発生件数(事件数)

病因物質	2021年		2020年		2019年	
	事件数	構成比	事件数	構成比	事件数	構成比
アニサキス	344	48.0%	386	43.5%	328	30.9%
カンピロバクター属菌	154	21.5%	182	20.5%	286	27.0%
ノロウイルス	72	10.0%	99	11.2%	212	20.0%
ウェルシュ菌	30	4.2%	23	2.6%	22	2.1%
植物性自然毒	27	3.8%	49	5.5%	53	5.0%
ブドウ球菌	18	2.5%	21	2.4%	23	2.2%
動物性自然毒	18	2.5%	35	3.9%	28	2.6%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	9	1.3%	5	0.6%	20	1.9%
化学物質	9	1.3%	16	1.8%	9	0.8%
サルモネラ属菌	8	1.1%	33	3.7%	21	2.0%
その他の病原大腸菌	5	0.7%	6	0.7%	7	0.7%
セレウス菌	5	0.7%	1	0.1%	6	0.6%
クドア	4	0.6%	9	1.0%	17	1.6%
その他/不明	14	2.0%	22	2.5%	29	2.7%
計	717	100.0%	887	100.0%	1,061	100.0%

病因物質別食中毒発生件数(患者数)

病因物質	2021年		2020年		2019年	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
ノロウイルス	4,733	42.7%	3,660	25.0%	6,889	52.9%
その他の病原大腸菌	2,258	20.4%	6,284	43.0%	373	2.9%
ウェルシュ菌	1,916	17.3%	1,288	8.8%	1,166	9.0%
カンピロバクター属菌	764	6.9%	901	6.2%	1,937	14.9%
アニサキス	354	3.2%	861	5.9%	476	3.7%
サルモネラ属菌	318	2.9%	396	2.7%	336	2.6%
ブドウ球菌	285	2.6%	260	1.8%	393	3.0%
化学物質	98	0.9%	234	1.6%	229	1.8%
植物性自然毒	62	0.6%	127	0.9%	134	1.0%
セレウス菌	51	0.5%	4	0.0%	229	1.8%
腸管出血性大腸菌(VT産生)	42	0.4%	30	0.2%	165	1.3%
動物性自然毒	26	0.2%	65	0.4%	38	0.3%
クドア	14	0.1%	88	0.6%	188	1.4%
その他/不明	159	1.4%	415	2.8%	465	3.6%
計	11,080	100.0%	14,613	100.0%	13,018	100.0%

4. 原因施設別の食中毒発生件数(2021年)

原因施設	事件数	構成割合	原因施設 が判明した ものの構成 割合	患者数	構成割合	原因施設 が判明した ものの構成 割合	一事件あ たりの患 者数	死者数	構成割合
飲食店	283	39.5%	55.2%	2,646	23.9%	25.5%	9	-	-
家庭	106	14.8%	20.7%	156	1.4%	1.5%	1	1	50.0%
販売店	40	5.6%	7.8%	44	0.4%	0.4%	1	-	-
事業場	31	4.3%	6.0%	1,189	10.7%	11.5%	38	1	50.0%
仕出屋	16	2.2%	3.1%	3,010	27.2%	29.0%	188	-	-
旅館	12	1.7%	2.3%	386	3.5%	3.7%	32	-	-
製造所	10	1.4%	1.9%	2,127	19.2%	20.5%	213	-	-
学校	10	1.4%	1.9%	542	4.9%	5.2%	54	-	-
病院	5	0.7%	1.0%	283	2.6%	2.7%	57	-	-
その他・不明	204	28.5%	-	697	6.3%	-	3	-	-
計	717	100.0%	100.0%	11,080	100.0%	100.0%	15.5	2	100.0%

※本資料は厚生労働省ホームページに掲載されている2022年3月25日時点の食中毒統計資料のデータを編集したものです。元となるデータは次のURLをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/04.html